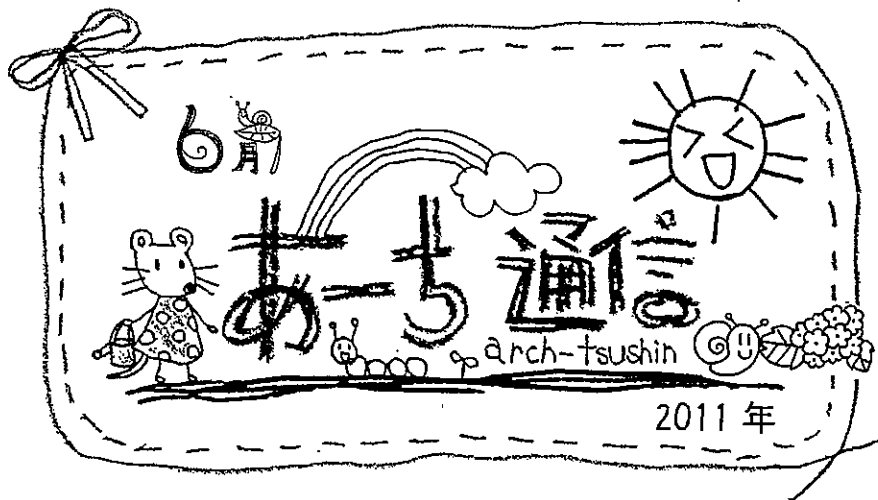




新しいプログラムのお知らせ

「あーち」では、今年の6月から12月にかけて
テーマ別のセミナーを5回シリーズで開催します。
まず1回目は、お子さんとのコミュニケーションを
高める楽しいプログラムです。

1～3歳の子どもさんがいらっしゃるお父さん、
お母さんの参加をお待ちしています。

「パパ・ママのための

コミュニケーション・ワーク」

<予約制 週1回 3セッション>

日時：

- ① 6月25日(土) 10時30分～12時00分
- ② 7月 2日(土) 13時30分～15時30分
- ③ 7月 9日(土) 13時30分～15時00分

<2回目は、近隣の地域福祉センターでおこなわれる予定
また、保護者の方のみのワークなので託児があります>

対象：1～2、3歳児の子どもさんと保護者 10組

講師：大阪樟蔭女子大学短期大学部 准教授
臨床心理士 瀬々倉 玉奈 先生

<申し込み方法> 定員を超えると抽選になります
「あーち」に置いてある申し込み用紙にご記入の上
直接「あーち」スタッフにお申し込みください

はじめまして！えーる です

東日本大震災被災地の長期支援を目指す
チャリティイベントです。

(「あーち」は「えーる」の活動を応援しています)

ステージあり、ゲームあり、工作あり、
子どもからおとなまで楽しめる企画がもりだくさん！
ぜひ、お誘いあわせの上、遊びにいらしてくださいね♪

とき： 毎月第3土曜日

ところ：灘区民ホール1階ロビー

入場料無料 ただし、ステージのみ、おとな300円
小学生100円、乳幼児は無料です。

本イベントの収益金は、全額募金いたします

(関連記事の4面をごらんください)

主催 ボランティア団体「かたつむりんぐ」

メール：yell.22@live.jp <代表：たつみ>

えんじえる by Bon



2011年6月号 Vol. 69

神戸大学大学院サテライト施設

「のびやかスペース あーち」

〒657-0057 神戸市神ノ木通 3-6-18

TEL&FAX 078-805-6090 [開館：火～土曜日]

Email arch@h.kobe-u.ac.jp

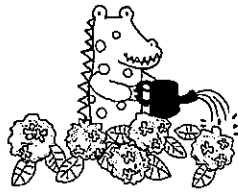
http://www2.kobe-u.ac.jp/~zda/arch-prep.html

神戸大学大学院人間発達環境学研究科

ヒューマン・コミュニティ創成研究センター

〒657-8501 神戸市灘区鶴甲 3-11

TEL 078-803-7970 FAX 078-803-7971



6月予定表

		こらほあーち	あーとあーち	ふらっとあーち
1	水			
2	木			
3	金	居場所づくり 3時～6時		
4	土			
5	日	休 館		
6	月			
7	火	ほっと（予約制）10時30分～		おひさまひろばあーち（午前中）
8	水	ほのほの音ランド 11時20分～		おりがみあそび 2時30分～
9	木		筆をもとう 1時～2時30分 めだか親子クラブ 2時30分～	
10	金	居場所づくり 3時～6時		
11	土	0歳児のパパママセミナー（予約制）／高校生の赤ちゃんふれあい体験学習 10時30分～12時		
12	日	休 館		
13	月			
14	火	ほっと（予約制）10時30分～	あーち人形劇団「むー」企画会議1時30分～	おひさまひろばあーち（午前中）
15	水	親子わらべ歌あそび 11時20分～	あーち通信編集会議 1時30分～	
16	木			ベビーマッサージ（はいはい）11時～
17	金	居場所づくり 3時～6時	アートセラピー 3時30分～5時	
18	土	ぽっとらっく（予約制）		紙芝居 11時～
19	日	休 館		
20	月			
21	火	ほっと（予約制）10時30分～		おひさまひろばあーち（午前中）
22	水			おしゃべりほっとタイム 11時～
23	木		筆をもとう 1時～2時30分 めだか親子クラブ 2時30分～	
24	金	居場所づくり 3時～6時／らくがきおばさんがやってきた 3時30分～5時		
25	土	テーマ別セミナー「パパ・ママのためのコミュニケーション・ワーク セッション1」10時30分～（予約制） おはなしの国 1時30分～2時 音楽の広場 2時30分～		
26	日	休 館		
27	月			
28	火	ほっと（予約制）10時30分～	あーち人形劇団「むー」企画会議1時30分～	おひさまひろばあーち（午前中）
29	水			
30	木			ベビーマッサージ（ねんね）11時～

- ・プログラムは都合により変更または中止することがあります。ご了承ください。
- ・太字のプログラムは今月の特別プログラムです。
- ・予約制以外の、どのプログラムも参加（見学）することができます。
- ・プログラムへの参加年齢の制限はありませんが、内容などの詳細は受付までお問合せください。
- ・ベビーマッサージにご参加の方は、バスタオルを1枚お持ちください。



ふらっとあーち

ふらっと (ドロップイン) 火～土 10時半～16時半
ふらっと相談員
 火曜 午前中 保育士 助産師(不定期)
 午後 灘区子育て支援コーディネーター
 水曜 午前 臨床発達心理士(不定期)
 NPO 法人マザーズサポーター協会(第4水)
 木曜 家族相談員 助産師(不定期)
 金曜 午後 灘区子育て支援コーディネーター
 土曜 助産師(不定期)

授乳室 **おひさまひろばあーち** 保育士さんによる親子遊び
 (火曜 午前 11時半～)
紙芝居 人形劇 おいがみあどび
ベビーマッサージ 布おむつ交流会

くつばこ **受付**

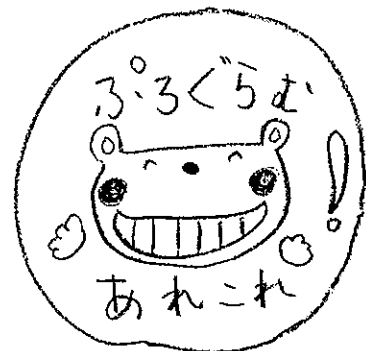
出入口

あーとあーち **情報コーナー**

＜造形プログラム＞
アートセラピー
らくがきおぼさんがやってきた

＜いるんな遊びを教えてください＞
めだか親子クラブ
＜習字を始めませんか＞ 筆をもとう

あーち通信編集会議 **画材道具**



こらぼあーち

＜音楽系プログラム＞
音楽の広場
ほのほの音ランド
親子わらべ歌あどび(まめつちよわらべうた)

＜おはなし＞
おはなしの国(ストーリーテリング&絵本)

＜予約制のプログラム＞
発達障害がある子どもと親向け ほっとらくく
発達障害児支援プログラム ほっと
障害児者のための 居場所づくり
0歳児のパパママセミナー
& 高校生の赤ちゃんふれあい体験学習
テーマ別セミナー

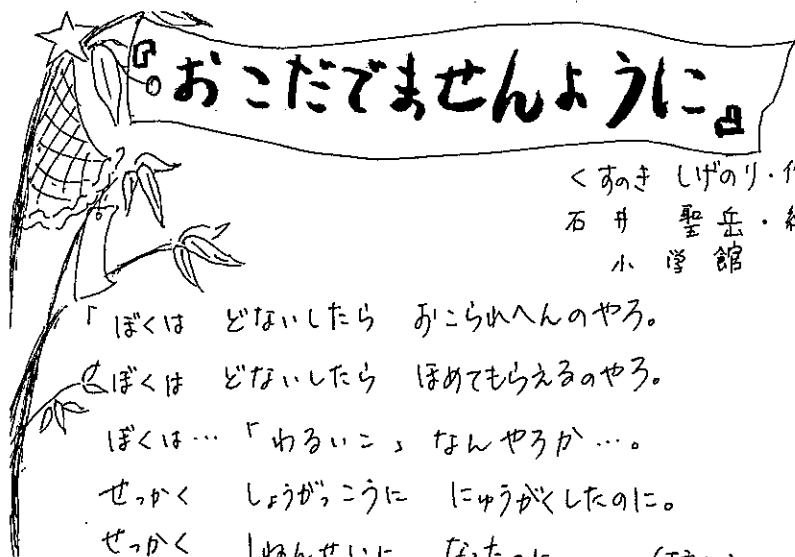
＜その他＞
あーち連絡協議会
あーち通信編集会議
各種セミナー 講演会 座談会など

あーちのルール

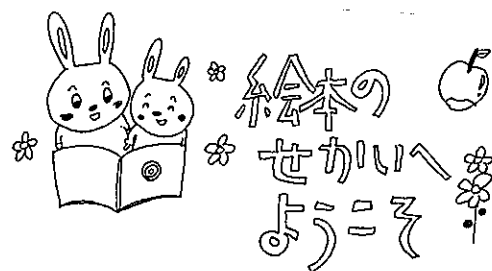
- ☆ふらっとあーち・あーとあーち・こらぼあーちのプログラムに参加できます
- ☆飲食は情報コーナー(終日)か、ふらっと(12時～13時)でできます
- ☆オムツやゴミは必ず持ち帰りましょう ☆託児の機能はありません

あーとあーち・こらぼあーちについて

- ☆プログラムのないときは、自由に使えます(スタッフにお聞きください)
- ☆就学前のお子さんが遊ぶときは、保護者の付き添いが必要です
- ☆使い終わった画材道具や本は、もとの場所に戻しましょう
- ☆らくがきおぼさんがやってきた、アートセラピーは汚れてもいい服でおこしく下さい



この本の中、何故「ぐっ！」としてしまったことが... こともは、
 楽しい、いいと思って話したり、行動しても、やりすぎ、我慢できないなどで
 怒られる。でも「ぼくはそういうことよくわかっている、けなげ」だもの。
 こどもが どうして こういう態度・行動になったか気がつかないことも
 あるかも...自分のこどもへの接し方を振り返ってみなくてはと
 思っていました。





東日本大震災復興支援と「あいち」

ゴールデンウィークに、仙台と石巻に行ってきました。行く先々で、「神戸の方たちからはとてもお世話になっています」という声を聞きました。阪神淡路大震災を経験した神戸のみなさんは、今回の震災に対してもさまざまな思いをお持ちのことかと思います。すでに、「あいち」利用者の方たちからも、「あいち」では、募金活動などはしないのですか？といった質問を複数いただいたとうかがっています。

私が仙台・石巻で活動できた日数は中3日という短期間でした。活動内容は、①泥かき、②避難所での保育、③障がい者施設での炊き出しでした。それぞれの活動で、いろいろなことを感じましたが、共通して感じたのは、「長期に渡る支援の必要」でした。それぞれ1日だけの活動でもとても疲れたのですが、毎日毎日ずっと長い期間、こういった活動が必要な様子だったので、「1日しか活動できなくてごめんなさい」という気分でした。

神戸に戻ってから、「あいち」利用者のみなさんの「神戸から離れることができない私たちにも、できることはないかしら」という思いと、長期にわたる支援の必要性とを結びつけることはできないか、ということを考えてきました。その結果、次のような支援の枠組みが無理ないのではないかという結論に達しました。

「あいち」のみなさんと、被災地のみなさんとの間に、できるだけ顔の見える関係をつくること。「あいち」が大学の組織であることもあって、今回は東北大学で子どもに関わる復興支援に尽力している田中真理研究室とつながりを作ってきました。田中研究室では、津波で流されてしまった児童デイケアセンター3箇所に学生を派遣するなどして支援を続けています。田中先生との意見交換の結果、次のような枠組みでの支援ができそうです。

- 1 津波で流された児童デイケアセンターが必要としているおもちゃ類を「あいち」から送ろうと思います。送ることができるものをリストアップして、田中真理先生のチェックをいただいた後、現地に直接送付します。おもちゃ類の寄付をお願いします。
(送付できなかった物品は、後日「あいち」で実施するバザーに出品させていただきます)
- 2 田中研究室から派遣される学生の交通費や、子どものおやつ代などの継続的な送金。これは、「えーる」(この「あいち通信」の1面参照)の募金活動で集めたお金を送ることにする計画です。ぜひ、「えーる」の活動を楽しみながら、少額で結構ですので寄付をお願いしたいと思います。
- 3 学生や教員が夏休みなどに被災地へ赴き、田中研究室の活動に合流します。詳細はまた後日お知らせします。

まだまだできることはたくさんあるかもしれませんが、無理せず長い期間少しずつたくさんの人が支援するとよいのではないかと思います。「あいち」でみなさんに書いていただいた色紙2枚は、避難所の子どもの家族と、津波で流された児童デイケアセンターに持っていきました。両方とも、想像した以上に喜ばれました。ぜひ、これからも静かに支援の火を守っていきましょう。

(津田)

絵本の世界へようこそ



『100かいだてのいえ』 いわいとしお 偕成社 2008年

ある日トチくんは、招待状を貰いました。行ってみると、それは10階ごとに違う住人のいる高い高い家でした。縦に開いて下から上に読む、ちょっと変わった絵本。

『ちか100かいだてのいえ』も、あわせてどうぞ！(岸本)